

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で (ヨシエル)」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇 119 : 7、エペソ人 6 : 5 「真心から」、マタイ 13 : 44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

- **2** ダイナミックな多角的、立体構造：神の視点  
人類史に先立って配備された神の考案  
天地宇宙の全被造物は神を証し
- **6** 究極的に立証される神のすべての言葉

米国大陸を横断する8月21日の皆既日食

「その日には…わたしは真昼に太陽を沈ませ、日盛りに地を暗くし…その日を、ひとり子を失ったときの喪のようにし、その終わりを苦い日のようにする」 (アモス書8 : 9-10)

☆神は、天体を通してこの世にメッセージを送られる

☆8月21日 (月)、一日本では8月22日一、非常に珍しい皆既日食が米国大陸で観測される

☆皆既日食が見られるのは、米国北西部のオレゴン州から、アイダホ州、ワイオミング州、ネブラスカ州、カンザス州、ミズーリ州、イリノイ州、ケンタッキー州、テネシー州、サウスカロライナ州で、米大陸を横断した後、日食の帯は南東の大西洋へと移動



☆8月21日はユダヤ暦では一小さな悔い改めの日一、ユダヤ暦の第五「アヴの月」の最後の日  
ユダヤ人、ショファア/雄羊の角笛を吹き鳴らし、「ヨム・キプル/贖罪の日」に向けて四十日間、毎朝、ショファアを吹きならし、民に悔い改めを促す

☆ユダヤ教ではこの四十日間は、モーセがシナイ山で二度目の十戒を受けるまで、イスラエルの民の贖いを執り成した期間に該当

## 聖書

☆今回のような幅（110kmの帯）と長さ（大陸横断）で皆既日食が米大陸の西岸から東岸へ移動するのは九十九年ぶり

☆次は七年後の2024年4月8日、しかし、観測できる道筋は、北東から南西へと方向が逆

☆米国の一地区だけが両道筋の交差点になり、そこでは七年後も皆既日食を観測できる

☆イリノイ州の南部の「小エジプト」と呼ばれる地区で、最南端の都市の名はカイロ！

☆ここでは、米国の中でどの州、地区、都市よりも一番長く、「暗やみの災い」が経験される

☆ユダヤ教の神秘主義カバラでは、太陽は世界の諸国民、月はイスラエルを象徴

したがって、米国で観測されるこの日食は、観測地の米国だけに關わるメッセージ

☆神のメッセージは、

「わたしに立ち返れ。米国では、モーセ五書が『忌まわしいこと』と警告していることが、合法化されている。このすべてを投げ捨てよ」

☆ユダヤ教の『タルムード』には、

「西欧に日食が現れたら、偶像崇拜がはびこっていることのしるし」と書かれている

☆米国民が同性愛や性倒錯を擁護、崇拝している昨今の、急速にエスカレートしている風潮こそ、神が日食を通して語っておられる警告であると、ラビは言う

☆日食は、太陽系の惑星の中で「地球」だけに起こる非常にユニークな現象

＊月と太陽は天空では同じ大きさに見えるが、月は太陽よりも四百倍も小さい

＊皆既日食は、太陽と地球との距離が、地球と月との距離のほぼ四百倍離れているから起こる

☆この天体の絶妙な組み合わせや位置関係を考案されたのは神ご自身

☆科学者たちは、日食を地球の「大いなる偶然の一致」と称するが、神を信じる者には、神の存在、神の完璧なデザインの証拠

☆今日、月は一年に1cmずつの割合で地球から離れており、日食はもう起こらなくなる

⇒神は、深遠なるご計画を達成された後は、人に警告を告げる手段をもう必要とされなくなる

☆イスラエルでは、8月7日に部分月食が起こった

☆ラビの説明によれば、これは、宗教的なユダヤ人への悔い改めを促す警告

☆天上の神にしがみつけば、下界で何が起ころうと、心配することは一切ないが、

もしユダヤ人が米国式生活様式にしがみついたら、神との関係が断たれる、とラビは言う

---

### 上述の見解とは異なった別の解釈

「主はこう仰せられる。『異邦人の道を見習うな。天のしるしにおののくな。』

異邦人がそれらのしるしにおののいても」（エレミヤ書10：2）

→この章は、異邦人に対する裁きに焦点

☆百年以上前のユダヤ人の古い預言、—「日食は東洋の暴君の崩壊を予示する」—

☆この預言は、1894年に書かれた『ヤルクート・モシェ』—「モーセの収集」—の中にあり、「日食がエルルの月の初めに起こるとき、東の王たちは大きな損害を被る」と書かれている

☆ユダヤ暦によれば、月食も含めて皆既食の起こるタイミングは非常に重要

今回の皆既日食はヘブル暦の「エルルの月」の初め、—「アヴの月」の最後—に起こる

☆「エルルの月」が始まると、四十日間の悔い改めの期間に入る

☆このタイミングに起こる日食は、とりわけ悪い前兆という

## 聖書

- ☆今日、米国は北朝鮮との衝突で、政治的、軍事的に切迫した緊張状態にある  
そこで、この古代預言の「東の王」を北朝鮮のキム・ジョンウン（金正恩）委員長とする解釈が広まっている
- ☆北朝鮮が引き続き、トランプ政権への威嚇を続けるなら、緊張関係は核戦争にまで発展する可能性が十分あり、その結果、キム委員長はわが身に災いを招くことになる、と

### 米国と北朝鮮の関係

- ☆7月29日に、米軍は、北朝鮮の大陸間弾道弾（ICBM）発射実験実施への対抗措置として、グアム島の基地からB1爆撃機二機を派遣、北朝鮮を強くけん制
- ☆8月4日に、北朝鮮が弾道弾を発射した際にも、米軍は直後にB1爆撃機を派遣し、朝鮮半島周辺の上空を飛行させた
- ☆8月14日、韓国の報道機関KCNAは、北朝鮮がグアム島に向けて四発のミサイルを発射する計画を報道、緊張状態は切迫
- ☆米国のマティス国防長官とティラーソン国務長官は連名で、北朝鮮が挑発行為を続ける限り、米国側に交渉の余地はないことを明らかにした
- ☆8月16日、北朝鮮、米国の行動をもう少し見守る旨、声明を発表
- ☆その後緊張緩和に対する期待が上がっているが、北朝鮮の強い反発の中、8月21日から、恒例の米韓合同軍事演習が韓国で始まり、警戒態勢を緩めることはできないのが現状

---

### さらに別の解釈

- ☆日食は海岸沿いに尋常ではない満潮を引き起こし、8月21日はハリケーンの予報
- ☆皆既日食による「暗闇」と、ハリケーンの重なりは非常にまれで、先回は1959年に起こった
- ☆ラビ、ウINSTONの解釈では、この現象は「米国の時代の終わり」を告げるもの
- ☆また、アメリカのユダヤ人に対する、イスラエルに帰れ！との最後の「目覚ましコール」

---

### 聖書のメッセージ

- ★神は、全被造物が神の御旨を理解するために、太陽、月、星を天に配置された
- ★諸国民が一様に、神ご自身の天の下に存在する被造物にすぎないことを知り、各民には、神が信任された責任があることを理解するためである
- ★諸国民は、神が洪水後ノアに命じられた掟を守らなければならない
- ★その中に、殺人の禁止令がある
- ★このご命令を無視する者、諸国民はみな、苦しむことになる

---

### 神のノアとの契約 創世記8：20－9：17

- ☆洪水後ノアに与えられた「契約」
  - ①神と地との契約：  
人の罪のため二度と地をのろうことはないと言、約束
  - ②生命の契約：  
この世の生命の約束  
同時に、死刑の制定 →5、6節
  - ③全人類と地上のすべての生き物への代々永遠の無条件契約：  
契約のしるし「虹」
    - ★人に与えられた神の約束の保証
    - ★この世を守る神ご自身の覚え
    - ★全世界的な洪水の証し

## 聖書

- 
- ★今回採りあげた、8月21日の皆既日食に対する解釈はいずれも推測
  - ★しかし、天体現象自体が神のメッセージであることは全聖書の主張
  - ★同様に、2017年9月23日に起ころうとしている七千年に一度の天体現象、しし座からおとめ座上で、金星、火星、水星、太陽、木星、月が一直線に配列される天体現象も、全諸国民への神からのメッセージ  
〔フルダレターNo.259、2017年5月号、  
『一人で学べるキリストの啓示 「ヨハネの黙示録」の預言』補注p.503-509 参照〕

---

### 私たちの現在の苦境

- ☆今日、この世もキリストの群れもともに、神の秩序、聖書の基準から離れつつある
- ☆神は、究極的な裁きを下す前に、天体現象をはじめ、いろいろな手段を通してメッセージを語っておられる  
耳を傾け、悔い改めることにより、死ではなく、生命を選ばなければならない

---

### この世の実態

- ☆全世界が道徳的に大変な墮落状態にある
- ☆この世のマスメディアは、真理を覆い隠している
- ☆この世の法廷は、正義をゆがめている
- ☆この世の学校は、意識的に若者を洗脳している
- ☆この世は、伝統的な遺産を価値の相対化にすげ替えた
- ☆この世の政府は、不道徳を促進している
- ☆究極的な危機を生み出しているのは、この世の最先端にいる世界のエリートである

---

### キリストの御旨からかけ離れた昨今のこの世の教会の目標

- ☆キリストは、ご自分の御国はこの世のものではない、と明言された
- ☆多くの教会の目標は今日、神のためにこの世を支配すること  
この概念は、地上に「神の都」建設を唱えた聖アウグストにさかのぼる
- ☆ジョン・カルヴァンも、ジュネーブにこの「神の都」を建設することを目ざした  
カルヴァン派の人たちの目標は、政治的権力、マスメディア、学校などすべてを支配し、キリスト教国とキリスト教界を作りあげることであった

---

### キリストの教え

- ☆その正反対
  - ☆この世の人々が「父の御国」に入ることができるように、全世界の人々に福音を伝えること
- ⇒キリスト者の指針、最後の権威は『聖書』  
ガラテヤ人1：8-9ほか